

東京アニメアワードフェスティバル
長編アニメーション
グランプリ受賞

アヌシー国際アニメーション映画祭
審査員賞&最優秀フランス作品賞
W受賞

セザール賞
長編アニメーション部門
ノミネート



おとぎ話の向こう側へ――

大人のための The Girl without Hands グリム童話

手をなくした少女

Jean-Christophe Souleageon present

A film by Sébastien Laudenbach

Adapted from the Grimm Brothers' tale With the voices of Anaïs Demoustier, Jérémie Elkaim
And with the voices of Philippe Laudenbach, Sacha Bourdo, Olivier Broche, Françoise Lebrun, Elina Löwenshohn

Written, drawn and directed by Sébastien Laudenbach. Inspired by Olivier Py and freely adapted from the Grimm Brothers' tale "The girl without hands"

Original music composed and interpreted by Sébastien Laudenbach

Compositing directors: Sébastien Laudenbach, Clémence Baklattan. Compositing operators: Julie Leppagat, Thibaut Fery. Sound by Julien Ngo Truong

Sound engineer and post-synchronization by Nicolas Sacco. Sound effects by Roman Antkowiak. Mixing by Xavier Marquet

Production: Les Films Séquence (Jean-Christophe Souleageon) Co-production: Les Films Pelléas (David Thion, Philippe Martin)

With the support of the Centre National de Cinéma et de l'Image animée, of the Région Aquitaine Limousin Poitou-Charentes, of the Région Île de France, of Pyramide International and Shellac

REGISSOR/SCÉNARISTE PHILIPPE LAUDENBACH

グリム童話を現代の視点から新たに蘇らせたフランスの傑作アニメーション

2016年/フランス/80分/DCP/原題: La Jeune fille sans mains/英語: The Girl without Hands
監督:セバスチャン・ローデンバック/声の出演:アナイス・ドゥームースティエ(「彼は秘密の女ともち」)、ジェレミー・エルカイム(「わたしたちの宣戦布告」)
配給:ニューデア/配給協力:チャイルドフィルム/宣伝:フレイトタイム/字幕協力:東京アニメアワードフェスティバル/後援:在日フランス大使館、アンスティュー・フランス日本

newdeer.net/girl



シンデレラ、白雪姫だけじゃない!

“本当は恐ろしい”グリム童話に、 新たなヒロインが誕生!



おとぎ話に血を通わせ、
現代を生きる我々に訴えかける、切断と接続の物語。

山村浩二(アニメーション作家)

アヌシー映画祭で見た「手をなくした少女」に言葉を失った。
その完璧さと美しさに、ため息。

トム・ムーア(『ソング・オブ・ザ・シー 海のうた』監督)

水墨画のように省略が行き届いたアートスタイルにほろろな。童話という言葉に心の窓を曇らせるな。
ここにあるのは映画だ。重厚で凄まじい一本の映画だ。

片淵須直(アニメーション監督/『この世界の片隅に』)

グリム童話を新たに蘇らせた傑作アニメーション

19世紀初頭にグリム兄弟によって書かれたドイツの民話集「グリム童話」は、160以上の言語に翻訳され聖書に並ぶといわれるほど世界中で読み継がれてきた。だが、その元になった民話には多くの残酷な場面や性的な事柄が含まれており、“本当は恐ろしい”童話として、大人向けにも長年注目を集めてきた。

本作は「グリム童話」に初版から収録されている民話「手なしむすめ」を、新たによみがえらせた傑作アニメーションだ。ヒロインの少女は悪魔の企みで両腕を奪われ、数奇な運命に翻弄されながらも、旅の中で豊かな自然—水、太陽、果実に助けられ、自分だけの幸せを見出していく。

ヒロインの生命力にあふれ、しなやかな生き方を、現代的な視点で描くのはフランスのセバスチャン・ローデンバック監督だ。故・高畑勲監督の実験精神に敬意を表する監督は、本作で驚嘆の作画技法「クリプトキノグラフィー」を用い、長編でありながら全ての作画をたったひとり手がけた。まるで線そのものが命を持ち、呼吸するかのような美しい映像に、思わず息を呑む。そして、王子との結婚の先に少女を待ち受ける思いがけない物語の展開は、原作とは異なる監督ならではのラストへと観客を誘っていくだろう。



「クリプトキノグラフィー」

ローデンバック監督の造語で「クリプトグラフィー(暗号)」+「キノ(映画)」を意味する。動きの美しさを際立たせるための謎めいた手法

父に両腕を切り落とされたヒロイン。彼女が選んだ未来とは?

貧しい生活に疲れた父は悪魔に騙され、黄金の代わりに最愛の娘を差し出す契約を交わしてしまう。辛くも生き延びたものの、父に両腕を切り落とされた娘は、家を出て放浪する。不思議な精霊の力にも守られた娘は、幸運にも助けられ、やがて、一国の王子から求愛を受けることになる。

しかし、悪魔は、用意周到にふたりの仲を引き裂く。娘は生後間もない子どもを連れ、王宮を後にする。さあ、娘と悪魔の闘いの結末は? 娘が息子と選んだ未来とは?

大人のための グリム童話

手をなくした少女

2016年/フランス/80分/DCP/原題: La Jeune fille sans mains/英題: The Girl without Hands

監督: セバスチャン・ローデンバック/声の出演: アノイス・ドゥム・ステイエ(『彼は秘密の女とだち。』)、ジェレミー・エルカーム(『わたしたちの宣戦布告』)

配給: ニューデアー/配給協力: チャイルド・フィルム/宣伝: ブレイタイム/字幕協力: 東京アニメアワードフェスティバル/後援: 在日フランス大使館、アンスタイチュ・フランセ日本



newdeer.net/girl